

読賣新聞

2018年(平成30年)

1月6日土曜日

統合失調症治療で共同研究

島大と薬開発企業が講座

島根大と難病治療薬などの研究開発を行う企業「RESVO(レスボ)」(東京都)が5日、同大医学部に「免疫精神神経学共同研究講座」を開設した。3年間で、免疫障害によって起こるとされる統合失調症の基礎研究から臨床試験までを行い、治療法を探る。

同学部などによると、統合失調症は人口の約0・8%に発症するとされる。幻覚などを引き起こすドーパ

ミンを薬で抑える治療法などが知られるが、副作用や治療の長期化も懸念され、根本的な治療法が確立されていない。

一部の統合失調症などの精神神経疾患に免疫抑制剤が効果があることなどから、統合失調症の基礎研究に強みを持つRESVOと、同学部による講座開設が決まった。

RESVOの小林宣文代表取締役は「統合失調症の

根治に向けて一丸となって頑張りたい」と述べた。